

登録コード	E8160400	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究					担当教員	酒井 英樹	
英文授業名	Graduation Study					副担当		
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	先行研究の検索及び検討、課題設定、研究計画の構築、研究の実施、データ収集及び分析、論文のまとめ方を理解し、探究するために必要な教養を身に付けるようにする。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	先行研究の検索及び検討、課題設定、研究計画の構築、研究の実施、データ収集及び分析、論文のまとめ方を理解し、科学的に探究しようとする力を高めるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	先行研究の検索及び検討、課題設定、研究計画の構築、研究の実施、データ収集及び分析、論文のまとめ方など、卒業研究に関する演習を行う。							
(5)授業計画	第1回 先行研究の検索 第2回 先行研究の検討 第3回 課題設定 第4回 研究計画の構築 第5回 データ分析方法の検討 第6回 研究実施 第7回 データ収集 第8回 データ分析 第9回 統計 第10回 論文執筆 第11回 図表の作成 第12回 引用文献リストの作成 第13回 校正 第14回 研究発表 授業アンケート							
(6)成績評価の方法	・ 英語教育学及び関連諸科学において、先行研究に基づいて課題を設定しているかについてを評価する演習におけるレポート（30%）、実証的な方法で探究することができているかを評価する構想発表及び中間発表（30%）、論文としてまとめることができるかどうかを評価する卒業論文（40%）の得点を合計して判断する。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	「卓越している」：十分な数の先行研究を適切に解釈し、学術的に意義のある課題を設定し、適切な方法で探究し、論文として適切な英語でまとめている。 「かなり上である」：先行研究を適切に解釈し、適切な課題を設定し、適切な方法で探究し、論文として適切な英語でまとめている。 「やや上にある」：先行研究を適切に解釈し、課題を設定し、適切な方法で探究し、論文として適切な英語でまとめている。 「水準にある」：先行研究を適切に解釈し、課題を設定し、実証的に探究し、論文として英語でまとめている。							
(8)事前事後学習の内容	自ら研究を進めること							
(9)履修上の注意	特になし。							
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	酒井英樹 N227 随時 sakaih@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	適宜紹介する。							
【参考文献】	適宜紹介する。							